



ナラブ

Vol.8

平成22年3月10日

生活観光現代GPのこれまで。

平成19年度より始めました生活観光現代GPも今年度で3年になります。来年度以降もこれまで培った教育や地域での活動を更に充実させ取り組んで参ります！
今後ともご理解・ご協力をどうぞ宜しくお願いいたします。

●みせる祭とみせられない祭 —観光と信仰の狭間で—

祭りオヤジの異名をとる私にとって、祭りとは地元の人々と交流を深める実に楽しいひと時である。しかし、お祭といっても厳粛な宗教儀礼の場合は、もともと人に見せるために行っているものではない。観光の振興という視点からは大いに公開してほしいのであるが、宗教儀礼を行う当事者にとっては外に向かって見せることは全く意識していないのである。当事者の視点と外からの視点、古都奈良の宗教行事では、この二つの視点がせめぎあっていることを忘れてはならない。

生活観光現代GP推進委員
文学部 准教授 武藤康弘



発行元
奈良女子大学社会連携センター
生活観光現代GP推進室

〒630-8506 奈良市北魚屋西町
Email: gp-gendai@cc.nara-wu.ac.jp
HP: <http://www.nara-wu.ac.jp/gp2007>

●代表からの挨拶

(生活環境学部 教授 増井正哉)

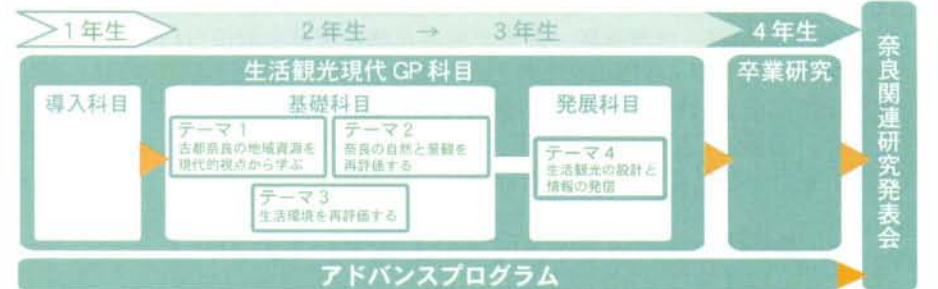
取組をはじめにあって「生活観光」という言葉をこのプログラム名に入れたのは、「人目を引く」というねらいもありました。実際、奈良がもつ社寺観光のイメージと「生活」が結びつかないとの意見があったことも確かです。ただ、この取組を進めて行くなかで、その言葉の意味と可能性について、学生・教員だけでなく、地域の皆さんにも理解いただけるようになってきたと考えています。生活観光現代GPは、奈良女子大学が立地する古都奈良をフィールドに、地域の方々や諸団体と連携しながら、身近な生活環境の中に織り込まれた地域資源を発掘・再評価・発信するプロセスを実践的に学ぶ取組です。この地域資源の発見・再評価・発信というプロセスはこの3年間でようやく具体化し、その教育効果も現れてきました。それは現代GPに関わっている学生が自主的に地域での活動を企画し、地域の情報を発信するなど、さまざまな実践に取り組んでいることから感じています。

この現代GPを通して地域の皆さんと大学が接点を持ち、輪が広がっているのは大変重要です。平成22年度からは取組がスリム化されますが、地域の皆さんと今後とも良い関係を続けていきたいと考えています。これからもご支援を宜しくお願いいたします。

●生活観光現代GPの取組

奈良のことを継続的、効果的に学べるカリキュラムの充実

生活観光現代GPには、4つのテーマがあります。地域資源の発掘・再評価を進める3テーマと、実際の観光設計と情報発信をすすめる1テーマです。各テーマを学べる科目を、「生活観光現代GP科目」とよんでいます。生活観光現代GP科目を通して、地域資源の発掘・再評価、観光設計・情報発信の方法について効果的に身につけ、実践的に学ぶことができます。これらの科目を受講し、奈良について様々な専門から調査・研究を深め、奈良に関わる卒業研究などに取り組むことができます。さらに、毎年3月に開催される「奈良女子大生による『奈良』に関わる研究発表会」で、それらの成果を地域の方々に発表する機会も設けました。



アドバンスプログラムの実施 地域のニーズや学生の自主性を重視した課外活動

- 正倉院展関連事業 スタンブラリーイベントへの参加
奈良市中心8商店街や奈良市、まちづくり団体などが実行委員会を組織し、正倉院展期間中のイベントとして、「はじまりは正倉院展」スタンブラリーを実施しています。生活観光現代GPでは、教員が実行委員会に参加するとともに、多くの学生がボランティアスタッフとして関わりました。
- M-HOUSE PROJECT 町家で行う、学生の企画・運営によるイベント
正倉院展期間中、「奈良女子大学奈良町セミナーハウス」を一般公開し、学生有志によるイベントを実施、運営しました。
- 奈良の食プロジェクト 奈良の食材や食品を活かしたレシピの開発
学内および地域の方々とともに、奈良漬や大和野菜といった奈良の食材や食品を活かしたレシピ開発などに取り組みました。



【報告】生活観光現代G P 連続公開講座を開催いたしました。



今年度は、日本地域経済学会・奈良女子大学地域女性リーダー育成事業と共催で、生活観光に関するシンポジウムおよび連続公開講座（計4回）を開催しました。

第1回は「世界遺産都市・奈良における新たな観光戦略と地域経済」と題し、シンポジウムを開催しました。阪南大学教授の吉兼秀夫先生に基調講演を行って頂き、その後地域で活躍する魚谷和良氏、中野聖子氏、林啓文氏をパネリストにお招きし、地域活動の現状や今後の展望について意見交換を行いました。

第2回～4回の講座は、女性が地域においてリーダーシップを発揮するための課題と視点を学び、ともに考え提案できる力を養うことを目的に開講しました。毎回、多彩な講師をお招きし、様々な分野から女性の活躍の可能性についてお話を伺いました。その後、講師から設定された課題をもとにワークショップを行い、より実践に向けた講座となりました。



【報告】ならスイーツコンテストに参加しました。

奈良の食プロジェクトで、1月30日（土）に開催されました「第1回ならスイーツコンテスト～せんとバレンタイン ならSweets～」に参加しました。

ちょっと変わった食材をスイーツにしようという思いから、大和の伝統野菜である赤いかぶ「片平あかね」に着目して、「まるごと愛して♡片平あかね」というチーズケーキを出品。

試行錯誤を繰り返し、葉っぱも使用した5層のきれいなさくら色をしたケーキができました。（右の写真が仕上がったケーキです！）

コンテスト当日はびっくりするぐらいの人が押し寄せ、残念ながら賞には届きませんでしたが、コンテストの主催者・参加者との交流もあり、とても貴重な経験となりました。



【お知らせ】奈良女子大生による「奈良」に関わる研究発表会を行います。

今年度も奈良に関わる研究の成果を地域の皆さんに聞いていただくため、研究発表会を開催いたします。この研究発表会は本年度で5回目となります。会場は平成18年度から、世界遺産・国宝である元興寺禅室をお借りしています。本学の文学部・理学部・生活環境学部の全学部から奈良に関わる研究を募り、学生が発表いたしますので、お気軽にお越しください。

また、会場近くにありますが奈良女子大学奈良町セミナーハウスも公開する予定です。ぜひそちらにも足をお運び下さい。

●日時：2010年3月23日（火）13:30～

●場所：＜世界遺産・国宝＞元興寺禅室

（右図参照して下さい）

* 入場無料、事前申込み不要、入退場自由



編集後記



生活観光現代GPに関わり、奈良を歩く機会が増えました。生まれ育った奈良と奈良の観光について学ぶことのできた3年間でした。（O）

GPのスタッフとして「生活観光」に関わることになり、あっという間に3年が過ぎてしまいました。知っているようで知らなかった奈良のまちを見つめなおすいい機会となりました。（S）

自分の専門とは異なる視点で奈良を学ぶことができたのは、生活観光現代GPのおかげです。生活しながら観光ができるという視点は、長年の奈良生活をより豊かなものにしてくれました。（N）

見慣れた光景も、視点を変えると全く違ったものに見える！と幾度となく感じました。

また、そういった刺激を与えてくれる多くの方々と触れ合う機会がもて、とても充実した3年間でした。（M）